

南陽市自分ごと化会議  
第3回会議 議事概要

日時	2024年11月2日(日)13時30分~16時30分
場所	赤湯公民館(えくぼプラザ)1階大会議室
コーディネーター	神奈川県逗子市 福祉部長 石井 聡
ナビゲーター	東京みらい中学校校長 文教大学客員教授 定野 司

第3回会議の振り返り

➤ 足立区の事例

- ・単学級の過小規模校をなくすため適正規模適正配置に基づき統廃合を実施
- ・8年毎に計画の見直しを行い時代の流れに対応
- ・統廃合にあたり、地元住民とも協議

➤ 小規模校について

- ・人間関係の固定化、部活動や学校行事の機会が限られる等のデメリットがある
- ・メリットとされている子供への目の届きやすさも、子供の数に合わせて教員の数が減るので難しい等、必ずしもメリットは言えない。

➤ 子供たちのための教育の在り方について

- ・社会で生き抜く力をつけるための教育
- ・子供たちが達成感を得ることができる環境が必要
- ・知識だけでなく知識を活用する力やコミュニケーション能力を学ぶ場

➤ 廃校によるデメリットについて

- ・廃校になった学校のワラビ取りの体験等の文化が消えてしまう  
→統合後の学校で引き続き続けていく
- ・統合になった後は、統合前の全エリアを学ぶフィールドとして活用できる
- ・学校は地域のシンボルなので、廃校になって人がいなくなることが寂しい  
→避難所や、子供の遊び場等の人が集まる場所として利活用

➤ あって欲しい中学校・中学生の姿

- ・卒業した後に、地元のことや学校のことを自慢できる学校
- ・同世代の都会の学校の生徒と地元のことを自慢し合える学校
- ・地元以外の場所で活躍していても地元を思い返せるような中学校生活
- ・失敗しながら次の一步を踏み出せる、チャレンジができる学校